

令和6年度事業報告

● 基本方針

昨年は「アイヌ施策推進法」施行後5年を経過し、内閣官房による地域説明会が道内16地区、首都圏で実施された。

アイヌ施策推進法に基づく交付金事業については、道内37自治体、道外1自治体において展開され、当会理事長が道内自治体を訪問し、積極的な活用を促した。

「民族共生象徴空間ウポポイ」の開業以来、協会事業とも連携し普及啓発を行った。

法人の基盤となる第1類正会員（以下、地区協会）はもとより、地区協会本会員との連携を深めつつ、アイヌ民族自らの活動展開と国民理解により得られる協賛により法人運営の健全強化に努めた。

「アイヌ施策推進法」並びに「北海道アイヌ政策推進方策」による総合的なアイヌ政策が推進されるよう働きかけるとともに、とりわけアイヌの生活向上とエカシ・フチに対する支援策を内閣官房アイヌ総合政策室や北海道選出国會議員に要請した。

1. アイヌ施策推進法の法制理解と利活用
2. 生活向上施策及び文化振興施策の見直しと充実
3. 新法制定を踏まえた組織強化への取組
4. 新法制度の全国展開を見据えた道外アイヌの認定等

<2つの項目>

- 1 組織・活動強化の推進
- 2 事業の推進

1 組織・活動強化の推進

1 要請活動等の展開

先住民族アイヌに関する総合的なアイヌ政策を確実に推進していくため、国政や関係行政機関に対し働きかけを行った。

また、北海道大学アイヌ・先住民研究センターと協働し、啓発・研修活動等を進め、人権啓発活動等に取り組む（公財）人権教育啓発推進センター、反差別国際運動等の情報入手に努めた。

（1）「アイヌ施策推進法」の施策活用

アイヌ文化の伝承・保存活動への取組みを推進するため、各地区協会はもとより、各古式舞踊保存会などがこの施策を有効に活用できるよう、事業の周知と実施方法についての助言、助力を行った。

（2）政府並びに各政党に対する働きかけ

アイヌ民族に対する理解促進や150年間何も変わっていない厳しいアイヌの生活に対し、生活の向上や子弟の教育の充実をお願いした。

特に、貧困と差別の中で悲しい思いをされてきたエカシ・フチが、この国に生まれて良かったと思える政策が促進されるよう要請した。

○政府等

- ・森山文部科学大臣 令和6年 4月 6日（ウポポイ慰霊施設）
- ・小泉法務大臣 令和6年 7月24日（ウポポイ慰霊施設）
- ・自見アイヌ政策担当大臣 令和6年 9月 4日（東京）
- ・伊東アイヌ施策担当大臣 令和6年11月21日（ウポポイ慰霊施設）
- ・石破総理大臣 令和7年 1月20日（東京／総理官邸）

○政党等

- ・鈴木宗男参議院議員 令和6年9月14日（札幌／北海道セミナー）
- ・北海道選出国會議員 令和7年1月21日（東京／議員会館）

○アイヌ政策推進会議 令和6年 7月 9日（札幌）

（３）北海道への対応

○鈴木直道北海道知事との面談 令和6年12月 6日（道庁）

（４）民族共生象徴空間の施策推進に対する働きかけ

①民族共生象徴空間ウポポイの認知度の向上

ウポポイの啓発パンフレット等広報資材を、公共施設や商業施設の利用者に配付したほか、公共施設等に配架、留置きをお願いし、ウポポイに対する国民理解、認知度の向上に努めた。

（５）遺骨・慰霊について

①慰霊施設における鎮魂式並びにカムイノミ・イチャルパ

慰霊施設に集約された、国内の12大学、5博物館、ドイツ、オーストラリアから返還されたアイヌ遺骨の鎮魂式並びにカムイノミ・イチャルパを実施した。

- ・令和6年10月13日（日） ウポポイ慰霊施設（白老町）

②研究倫理検討委員会準備会並びにラウンドテーブルへの参加

○アイヌ民族に関する研究倫理指針「研究倫理委員会」準備委員会

- ・日時 令和6年10月 7日（木村理事）
- ・日時 令和7年 2月20日（木村理事、貝澤局長）

③国内博物館（18館）保管のアイヌ遺骨及び副葬品のウポポイ慰霊施設への集約

- ・令和6年9月30日 返還手続きに基づき慰霊施設に集約が決まった4館（市立函館博物館8体、室蘭市民俗資料館7体、いしかり砂丘の風資料館2体、八雲町郷土資料館1体）18体のアイヌ遺骨がウポポイ慰霊施設に集約される。
墓所前に花束、供物を供え献花式を執り行った後、墓所内に納められた。

（６）農林漁業対策の推進

農林漁業対策については、地域の営業実態に応じた生産基盤や近代化施設の整備を進めるため、アイヌ農林漁業対策事業の積極的な活用を図るとともに、団体会員への制度理解に努めた。

(7) 住宅対策の推進

住宅の改善促進に努めた。

(8) 先住権、人権に係わる機関・組織等に対する働きかけ

① 法務省の啓発動画「アイヌの人々の人権に関する啓発動画「アコロ青春 a=kor アコロ」やイランカラブテキャンペーンなどの啓発事業や各種人権啓発資料の活用を通じ人権思想の普及・啓発に努めた。

② アイヌ民族の先住域である千島、樺太、北海道などの歴史的な実証資料や図書資料の収集に努めた。

③ 「FSC森林認証制度における管理木材リスク評価」について

「製紙会社が調達する北海道産木材がアイヌの伝統文化継承を阻害するような森林伐採に由来しないか、或いは森林域においてアイヌ文化の振興・発展にどのような支援が必要か」といった観点から王子製紙と日本製紙などが実施するヒアリングに道協会・関係地区協会が協力した。

(9) 自主的啓発活動の推進

平時、内外からの照会に応じて啓発活動の推進に努めた。

あわせて広報紙、冊子、チラシ、道の啓発誌、DVDなどをとおして、平時継続的な周知を図った。

(10) ホームページの充実

当法人のホームページによりアイヌ協会の活動方針や各種資料、最新の情報提供に努めた。また、新規会員募集についての情報提供を行った。

(URL : <http://www.ainu-assn.or.jp>)

昨今、インターネット上で発信される情報の中には、アイヌに対する誤解にもとづくものや不適切表現、誹謗中傷の類いまで様々散見され、さらには杉田水脈衆議院議員のSNS投稿が札幌法務局から人権侵犯に当たるとする報道があり、これらの言動はアイヌ民族の尊厳を著しく傷つけられるものであり、「昨今のアイヌ民族に関する情報発信、SNS投稿等について（令和5年12月15日）」と題して強く批判の意を表明した。

(11) 「アイヌ文化交流センター」の運営への協力

東京都に設置されている「アイヌ文化交流センター」との連携を図り、事業運営等に協力した。

(12) 道外在住アイヌに対する施策実現への働きかけ

総合的なアイヌ政策を推進していくため、関東域の関係団体・個人と連絡を密に情報を共有を行った。

(13) 北海道大学アイヌ・先住民研究センターとの事業連携

同センター実施事業への協力を行うとともに、当協会事業に対するセンター教員等の支援協力を得た。

アイヌ施策推進法施行後5年の見直しに向け、アイヌ民族に対する差別発言禁止規定の実効性ある対応措置について学習する機会とするため、北大アイヌ・先住民研究センター落合研一准教授（憲法）に、次のとおり、「アイヌ施策推進法第4条差別禁止規定の実効性向上に向けた今後の可能性について」と題して講演をいただき、簡明で分かりやすい説明で大変勉強になりました。

- ・令和7年1月29日 第3回役員研修・連携会議
- ・令和7年3月30日 会員研修会

(14) 北海道博物館（アイヌ民族文化研究センター）とも連携を密にし、事業の推進に協力した。

(15) 教科書等のアイヌ民族に関する調査研究

また、内閣官房が主催する「アイヌに関する教科書編集セミナー」（令和6年11月28日）に対応し、理事長メッセージを送付した。

(16) 教育相談員の配置等

既存の北海道教育庁、市教育委員会に配置されている教育相談員と協力・連携し、地元の意向に即した支援を行った。

(17) 図書・刊行物等の過誤対応

アイヌ民族の歴史や文化に関する刊行物（観光資料）の記述について、（公社）北海道観光振興機構に設置された「アイヌ文化分科会」など関係機関とも連携、協力し正確な知識の普及に努めた。

2 組織の強化

(1) 団体会員等との連携強化

アイヌウタリが一致団結し運動を展開するため、過去の不祥事を教訓に二度とくり返さぬよう常に心に刻むこととし、各地区協会（団体）や会員（本会員）への情報提供や共有を図りつつ、組織運営に努めた。

各地区協会の総会、地区協会事業等に協会役員が出席した。

<参加地区、出席役員一覧表>

※各地区協会からの通知、報告もとに掲載

期	日	行 事 名	出席役・職員
令和6年	4月 4日(日)	標津アイヌ協会総会	理事長
	4月 7日(日)	帯広アイヌ協会総会	理事長
	4月 7日(日)	新冠アイヌ協会総会	
	4月 7日(日)	根室管内アイヌ協会連合会総会	
	4月 8日(月)	弟子屈アイヌ協会総会	
	4月12日(金)	阿寒アイヌ協会総会	
	4月14日(日)	むかわアイヌ協会総会	
	4月14日(日)	苫小牧アイヌ協会総会	
	4月14日(日)	白糠アイヌ協会総会	
	4月21日(日)	千歳アイヌ協会総会	
	4月14日(日)	えりもアイヌ協会総会	
	4月21日(日)	平取アイヌ協会総会	

期	日	行 事 名	出席役・職員
	4月21日(日)	様似アイヌ協会総会	
	4月21日(日)	三石アイヌ協会総会	縮小開催
	4月26日(金)	釧路アイヌ協会総会	
	4月26日(金)	白老アイヌ協会総会	
	4月26日(金)	登別アイヌ協会総会	
	4月27日(土)	㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬㊭㊮㊯㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿(浦幌アイヌ協会)総会	副理事長
	4月	新ひだかアイヌ協会総会	書面表決
	5月11日(土)	第12回シベチャリ武四郎まつり	
	5月11日(土)	浦河アイヌ協会総会	
	5月12日(日)	日高地区アイヌ協会連合会総会	理事長
	5月16日(木)	室蘭アイヌ協会総会	
	5月21日(日)	日高アイヌ協会総会	
	5月24日(金)	伊達アイヌ協会総会	
	5月26日(日)	本別アイヌ協会総会	
	5月26日(日)	札幌アイヌ協会総会	
	5月	旭川アイヌ協会総会	
	5月30日(日)	様似 イチャルパ(先祖供養祭)	理事長
	6月 9日(日)	新ひだか 第36回イチャルパ	
	6月 9日(日)	弟子屈 第8回パリモモ祭り	
	6月16日(日)	伊達 有珠生活館オタサム「チセノミ」	理事長
	7月6日(土)	第31回コシャマイン慰霊祭	副理事長
	7月 7日(日)	洞爺湖町チセノミ・イチャルパ	理事長
	7月 7日(日)	恵庭 シラチセカムイノミ	副理事長
	7月13日(日)	八雲 カムイノミ・イチャルパ	理事長、副理事長、常務理事
	7月21日(日)	網走 チパシリアイヌイチャルパ祭	
	7月27日(土)	豊浦 カムイノミ・イチャルパ	理事長、副理事長
	8月 4日(日)	白糠 第46回 ふるさと祭イチャルパ	
	8月 4日(日)	帯広 アイヌ共同納骨堂慰霊祭	理事長
	8月10日(日)	第20回白老アイヌ碑供養祭	
	8月13日(火)	八雲アイヌ先駆者鎮魂の碑供養	理事長
	8月18日(日)	浦幌 ㊦㊧㊨㊩㊪㊫㊬㊭㊮㊯㊰㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿カムイノミ・イチャルパ	副理事長

期	日	行	事	名	出席役・職員
	8月29日(木)	第34回	阿寒町納骨堂イチャルパ		
	8月31日(土)	第53回	春採コタン祭り		
	9月 1日(日)	千歳	アシリチェブノミ		
	9月 1日(日)	白糠	第29回フンペ祭りイチャルパ		
	9月 1日(日)	帯広	令和6年度チョマトー祭り		副理事長
	9月 1日(日)	日高	無縁佛供養祭		
	9月 8日(日)	浦幌	第6回アシリチェブノミ		
	9月16日(月)	本別	イチャルパ		
	9月18日(水)	新冠	第42回無縁墓供養法要イチャルパ		理事長
	9月22日(日)	第78回	シャクシャイン法要祭		理事長、副理事長、常務理事
	9月20日(金)	釧路町	吉良平治郎 慰霊祭		
	9月22日(日)	根室	第48回ノッカマツプイチャルパ		
	9月28日(土)	釧路	第43回 カムイチェブ祭		
	10月 6日(日)	厚真	カムイノミ・イチャルパ		
	11月 3日(日)	白糠	第45回ししゃも祭り		
	12月18日(水)	恵庭	アイヌ協会総会		
令和7年1月		長万部	アイヌ協会総会		
	1月12日(金)	千歳	アシリパノミ		理事長
	1月25日(土)	釧路	アシリパ・チセノミ		
	2月28日(金)	八雲	アイヌ協会総会		理事長

(2) アイヌ施策推進法によるアイヌ施策の推進

アイヌ施策推進法に基づく施策の推進に国民理解を深めていただくため、国民を代表する国会議員にご理解とご協力をお願いした。

(3) 会員研修事業

「会員研修会」

令和7年3月29日、30日の両日、地区協会代表者による会員研修会を実施した。

第Ⅰ部 「国におけるアイヌ政策の推進状況について」内閣官房アイヌ総合政策室

「2025大阪万博におけるアイヌ文化の発進」

第Ⅱ部 「アイヌ施策推進法第4条差別禁止規定の実効性向上に向けた

今後の可能性について」北大アイヌ・先住民研究センター准教授 落合研一氏

「法人の活動・組織強化等について、意見交換・自由討議」

(4) 地区別懇談会

これまで新型コロナのため実施を控えておりましたが、今年度、次のとおり、2地区で開催しました。

○概要

今後の協会の取組等について

- (1) 新法制定5年後見直し等について
 - ・新法制定5年後見直しの進め方
 - ・アイヌ政策の推進状況
- (2) 主な事業の取組について
- (3) 意見交換・情報共有

○実施地区及び時期

- ①上川アイヌ協会 令和7年2月16日(日)
- ②旭川アイヌ協会 令和7年2月16日(日)

(5) 青年女性対策の推進

「青年・女性の集い」

日 時：令和7年3月15日(土)、16日(日)

場 所：ウポポイ、白老生活館

内 容：アイヌ文化研修、若手職員との座談会、講演、活動発表、意見交換

参加者：15人

(6) 各種相談員の合同研修会

日 時：令和6年7月8日～9日

場 所：かでる2・7

内 容：初任者研修（相談員就任歴1～2年）

研修①「映像資料視聴（職場におけるハラスメント対策）」

研修②「講演 アイヌが抱える言葉にしにくい「もやもや」について」

講師：北大アイヌ・先住民研究センター 北原モコットウナシ教授

情報提供（北海道環境生活部アイヌ政策推進局アイヌ政策課、北海道アイヌ協会）

グループ討議、意見交換

参加者：研修会42人、初任者研修5人

(7) 連帯意識の高揚

各種貸付金の返還について、各個人の責任において必ず履行されるよう償還義務の確認、連絡徹底に努めた。また、償還が滞っている地区協会と連携し償還督促に努めた。

(8) 生活館活動

各地区独自の活動実施にとどまった。

(9) 市町村への働きかけ

アイヌ施策推進法に基づく新しい交付金事業について情報共有と連携を図った。

また、市町村が行っているアイヌ関連施策の充実、生活格差の是正等、引き続きアイヌ施策や推進体制が充実するよう理事長が関係市町を訪問し働きかけを行った。

・令和6年 4月 3日 根室市長との面談（お礼言上）

・令和6年 7月23日 松前町への要請（クナシリ・メナシ関係）

9月25日 松前町（クナシリ・メナシ関係用地視察）

(10) 財政基盤の強化

会費収入は減少傾向（本会員の減）にあり、賛助会員、寄付金などの自主財源の確保に努め、49団体（183口、1,830,000円）、15個人（20口、60,000円）の賛助会員の協力を得た。

3 会務の運営

(1) 理事会、アイヌ協会役員研修・連携会議の開催

総会で議決された事項及び会務の執行を適正かつ効果的に推進するため、理事会を年4回程開催した。

また、必要に応じて適宜三役会議を実施した。

<理事会>

回	数	開	催	日	場	所
第 1 回		令和6年	5月	2日(木)	札	幌 市
第 2 回		令和6年	6月	12日(水)	札	幌 市
第 3 回		令和7年	1月	29日(水)	札	幌 市
第 4 回		令和7年	3月	29日(土)	札	幌 市

<役員研修・連携会議>

回	数	開	催	日	場	所
第 1 回		令和6年	5月	1日(水) 2日(木)	札	幌 市
第 2 回		令和6年	6月	12日(水)	札	幌 市
特別講演会		令和6年	9月	13日(金)	札	幌 市
第 3 回		令和7年	1月	28日(火) 1月29日(水)	札	幌 市
第 4 回		令和7年	3月	30日(土)	札	幌 市

(2) 監事監査の実施

当会の財務規程に沿って2回の監査を実施した。

令和6年度の執行部の業務や会計事務の適正執行に努め、監事監査とともに公認会計士による監査を実施した。

- ・第1回会計監査：令和6年12月18日(水)
- ・第2回会計監査：令和7年 4月25日(金)
- ・公認会計士監査：令和7年 4月25日(金)

2 事業の推進

(1) 社会的地位の向上に関する啓発と施策の推進

先住民族アイヌに関する知識の普及と理解促進のため、一般市民及びアイヌ当事者に対し、国際人権規範や人種、民族等に係る情報収集や対面交流等、適切かつ効果的手法により各種広報・啓発を行った。

①広報紙「先駆者の集い」の発行

年2回（B5版p.8）各4,000部発行。協会団体会員本会員、賛助会員や行政機関、研究者等に無料配付した。

②ホームページによる情報発信

当協会ホームページにより、先住民族アイヌの情報（組織概要、アイヌ史年表、国連活動、民芸品事業者、観光ガイド等）を発信した。

③「2024年 国際先住民族の日記念事業」

4学協会（日本人類学会、日本考古学協会、日本人類学会、北海道アイヌ協会）で協議してきた「アイヌ民族に関する研究倫理指針」の公開を先住民の日記念事業シンポジウムで行う予定（令和7年3月20日）であったが、倫理指針の公開が先送りとなったことから開催を見送った。

④アイヌ文化パフォーマンス発信事業

2021年に開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で披露した舞踊パフォーマンスをレガシーとし、アイヌ文化を国内外へ発信することを目的として、対外イベント等の時間枠に対応するために制作した同パフォーマンスの短時間（22分程度）バージョンについて、歌舞練習や音源・演出の編集等必要な準備を行い、演者のパフォーマンススキルや演出理解度・習熟度についての磨き上げを行うとともに、アイヌ民族文化財団主催の「イランカラブテキャンペーン」において大阪で舞踊パフォーマンスを披露した。

また、2025年大阪・関西万博におけるアイヌ文化発信について、出演者を決定するとともに、具体的な演出構成を協議決定し、出演団体や広域チームごとの練習を開催するなど必要な準備を行った。

(2) 各種貸付金の貸付

福祉（緊急使途支援）、環境整備（浴室、墓碑整備）、入学一時（大学、私立高校、専修学校）を、道内に居住するアイヌの生活向上や生活環境整備の支援のために、使途に応じて各種貸付を行った。

①福祉資金

・貸付限度額10万円以内 23件（2,300,000円）の活用があった。

②環境整備資金 申請なし

○浴室整備資金

・貸付限度額20万円以内0件（0円）

○墓碑整備資金

・貸付限度額30万円以内0件（0円）

③入学一時資金

○大学入学一時資金

- ・貸付限度額30万円以内0件（0円）

○私立高校一時資金

- ・貸付限度額20万円以内0件（0円）

○専修学校一時資金

- ・貸付限度額30万円以内1件（300,000円）

（3）職業の確立及び教育の振興に関する施策の推進

道内居住アイヌの就労、就職に係る技能向上や各種免許取得等の所要経費の助成並びに就職相談や求人開拓等に携わるアイヌ雇用推進員設置による指導、アイヌ民工芸品生産者を対象に販路拡大や就業支援、技能向上などの各種支援策を推進した。

①就職奨励事業

○就労や就職に係る支度費用や就職条件のための「就職支度資金」、「自動車等免許取得資金」などの所要資金を助成した。

- ・就職支度資金23,760円 0件（0円）
- ・技術習得資金50,000円以内 9件（428,000円）

②アイヌ雇用促進事業

○アイヌの雇用促進に対処するため雇用推進員を設置、就労・就職相談や求人開拓等によりアイヌの雇用と生活安定の促進を図った。

- ・全道13カ所のハローワークに雇用推進員を配置し、当該業務に従事した。
延べ347日間の活動で356件の相談を受理、39件の就職・求人に結びつけた。

令和6年度活動実績は次のとおり。

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
項 目														
1. 活動日数		29	29	27	28	30	30	30	29	29	28	29	29	347
2. 相談 件数	1) 求職者相談件数	30	41	27	27	32	32	32	27	27	28	25	28	356
	有効求職者	22	19	18	19	18	20	20	15	17	16	15	16	215
	新規学卒者	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	その他	8	22	9	8	14	11	12	12	10	12	10	12	140
	2) 事業所相談件数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	一般求人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	新規学卒者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
3. 安定所に取 次いだ件数	求職取次	6	9	4	5	4	5	6	6	5	4	7	5	66
	求人取次	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3
4. 職場適応指導件数		5	7	5	2	4	1	2	3	1	2	0	0	32
5. 安定所に取り次いだ求人 情報のうち求人受理件数 (求人数)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 就職に至った件数		9	3	0	2	4	0	2	7	4	3	3	2	39

③アイヌ中小企業経営改善指導事業

アイヌ事業者の事業活動の促進と経営安定化を図るため、各地区協会並びに個人事業所宛てに経営相談等の希望を募り指導事業を実施した。

④アイヌ中小企業振興対策事業

○アイヌ民芸品生産者の販路拡大や後継者育成、さらには新製品開発や需要喚起、民芸等の製作技術や文化の普及・理解促進のために行う作品展示、製作実演・体験、販売などによる「民芸品展示・販売会」を開催した。

開催地	場 所	期 間	体験講師／実演者
千歳市	新千歳空港 ターミナルビル 2階	令和 6年 9月25日～ 9月29日	体験講師：宮川正子、貝澤竹子 実 演 者：荒木 繁、吉村政彦
	新千歳空港 ターミナルビル 2階	令和 6年 12月 5日～ 12月 9日	体験講師：長縄由加利、石井美香 実 演 者：阿部紘美、貝澤竹子、宮川正子
	新千歳空港 ターミナルビル 2階	令和 7年 2月20日～ 2月24日	体験講師：阿部紘美、宮川正子 実 演 者：荒木 繁、貝澤竹子、吉田信男 長縄由加利、石井美香
白老町	ウポポイ インフォメーシ ョンセンター	令和 6年 10月 3日～ 10月 6日	体験講師：荒木 繁 実 演 者：吉村政彦
東京都	ギャラリー 八重洲	令和 7年 1月13日～ 1月18日	体験講師：八重清敏 実 演 者：荒木 繁、吉村政彦

○博物館の民族資料の熟覧・講習受講等による知識・技能等の向上、先進地視察や国立民族学博物館の外来研究、技術指導受講などによる研鑽、調査研究及び経営研修などを進める「工芸者技術研修」を行った。

<道外研修> 希望者なし

<道内研修>

①道内調査研究

国立アイヌ民族博物館において、収蔵資料を熟覧調査した。

- ・研修期間：令和6年12月～令和7年2月（計6回）
- ・参 加 者：久保田 明秀(木彫)(千歳) / 居橋 朗(木彫)(札幌)
- ・報 告 会：研修終了後、研修報告会を実施した。

②道内技術研修

アイヌ工芸者の技術向上と経営手法を習得するため、熟練工芸作家による技術指導と経営や販売促進に関する研修を実施した。

- ・研修期間：令和6年12月～令和7年3月（計6回）
- ・講 師：①技術指導（編み）優秀工芸師 堀 悦子
②経営セミナー 中小企業診断士 大塚 正明
- ・参 加 者：廣川 和子(編み)(帯広)/中村 江利(編み)(むかわ)/泉 美智穂(編み)(むかわ)
- ・報 告 会：研修終了後、研修報告会を実施した。

(4) 民族文化の保存・伝承及び発展に関する施策の推進

①第58回北海道アイヌ伝統工芸展

- ・期 間 令和7年2月6日（木）～10日（月）
- ・場 所 かでる2・7 1階展示ホール
- ・参加地区数 10地区協会（25人）
- ・出品数及び 伝統工芸品部門 25点 一般工芸品部門 12点 計 37点
- ・審査委員 元道立近代美術館学芸部長 浅 川 泰
 （敬称略） 北海道立総合研究機構主幹 万城目 聡
 北海道博物館学芸主査 大 坂 拓
 北海道アイヌ協会優秀工芸師 堀 悦 子
 北海道アイヌ協会優秀工芸師 貝 澤 徹
 北海道アイヌ協会優秀工芸師 岡 田 育 子
- ・受賞者一覧

	伝 統 工 芸 品 部 門			一 般 工 芸 品 部 門		
	作品名	地区名	氏 名	作品名	地区名	氏 名
最優秀賞 (※1)	タンパクオフ (タバコ入れ)	平 取	岡本 朋也	チヂリの タペストリー	札 幌	石井 彩花
優秀賞 (※2)				八寸帯 (アットウシ織)	平 取	藤田 由貴
優秀賞 (※3)	マキリ	札 幌	居橋 朗			
優秀賞 (※4)	チカルカルペ	平 取	貝澤すみれ	タペストリー	札 幌	長縄由加利
奨励賞	カパラミプの着物	札 幌	石井 彩花	チヂリの小箱	長万部	桑原 由恵
同	タシロ	平 取	平村 太幹	エムシアッ編み キーホルダー	札 幌	杉村 忍
同	トゥムシ コッ パスイ	札 幌	吉村 政彦	バッグ	白 老	吉国 幸子
同	イタ	平 取	西山 涼	スマホケース	標 津	西山 亜美
同	切伏木綿衣	伊 達	菊田 秀子			
同	脚絆	阿 寒	毛房 千夏			

※1 最優秀賞（北海道知事）

※2 優秀賞（北海道議会議長）

※3 優秀賞（北海道教育委員会教育長）

※4 優秀賞（かでる賞）

②アイヌ民俗文化財伝承・活用事業（道教委委託事業）

○アイヌ民俗文化財理解のための用語や伝統技術の習得、民俗芸能の伝承等の講座を開設し一般市民及びアイヌ同胞への伝承普及等を図った。

- ・アイヌ民俗技術伝承講座 6会場（札幌/白老/むかわ/帯広/釧路/鶴居）
- ・アイヌ民俗芸能伝承講座 4会場（札幌/白老/むかわ//釧路）
- ・アイヌ民俗技術・芸能伝承講座発表・展示
令和7年12月15日（日）、白老町にて実施

③アイヌ民族文化祭2024

民族文化の伝承と発展を図るため、「アイヌ民族文化祭2023」を開催した。

◆開催日時：令和6年10月26日（土）

◆開催場所：函館市亀田交流プラザ

◆入場者数：100人（関係者、出演者等を含む）

◆内 容：

主催者挨拶 理事長 大川 勝

来賓挨拶 函館市教育長 藤井 壽夫

講演Ⅰ

テーマ「江戸幕府を震撼させたシャクシャインの戦い」

講師 東北学院大学名誉教授 榎森 進

文化公演Ⅰ

アイヌ文化との交流 アイヌ古式舞踊披露

北海道アイヌ古式舞踊連合保存会

・鶴川アイヌ文化伝承保存会

講演Ⅱ

テーマ「道南のアイヌ文化について

～上ノ国町における近年の発掘調査を手懸かりに～」

講師 上ノ国町教育委員会社会教育担当局長 塚田 直哉

講演Ⅱ

テーマ「市立函館博物館とアイヌ資料ーアイヌ文化への還元をめざしてー」

講師 市立函館博物館 学芸担当主査 大矢 京右

文化公演Ⅱ

アイヌ文化との交流 アイヌ古式舞踊披露 輪になって踊りましょう

北海道アイヌ古式舞踊連合保存会等

・白老民族芸能保存会

・八雲ユーラップハンチカプの会

④ウポポイ園内アイヌ舞踊等披露発信事業

各保存会に地域で伝承してきた古式舞踊をウポポイの体験交流ホールで披露していただきアイヌ文化の発信と理解促進を目的に実施した。

・参加団体 13保存会

・実施時期等 通常公演 5月から1月 20回 及び 周年イベント 7月 1回
(通常公演 1団体 1回土日の2日間。1日2公演。1公演30分)
(周年イベント 2団体 7月 3日間。1日2公演。1公演30分)

・観客数 総観客数 12,143人（1公演当たり観覧者数平均 約152人）

⑤アイヌ工芸inみんなく

- ◆開催日時：令和6年11月28日（木）～12月1日（日） 10:00～17:00
- ◆開催場所：国立民族学博物館 エントランスホール
- ◆参加者：荒木 繁、堀 悦子
- ◆内容：アイヌ協会優秀工芸師の作品を紹介と体験ワークショップを通じて、アイヌ文化の理解と工芸品の普及啓発、さらには工芸作家の技術交流を深めた。

（５）諸民族との交流及び情報交換

①国内文化交流事業

○北海道大学及び札幌医科大学イチャルパ（供養祭）など、古式に則る先祖供養の実施により伝統文化の体験交流と技能習得による保存活動を実施し、併せて人類学等の研究者、大学関係者との遺骨返還方法等の協議や研究成果の社会還元、相互理解等を図った。

「北大イチャルパ文化交流の集い」－北海道大学アイヌ納骨堂におけるイチャルパー

- ・日 程：令和6年8月2日（金）13:00～15:00
- ・場 所：北海道大学医学部敷地内「アイヌ納骨堂」

「札幌大イチャルパ文化体験交流の集い」－札幌医科大学におけるイチャルパー

- ・日 程：令和6年10月9日（水）13:30～15:20
- ・場 所：札幌医科大学構内

○文化理解の促進と伝承活動の活性化を図るため、アイヌ古式舞踊の保存団体を招聘した「芸能交流会」を開催し、各地に伝わる舞踊や歌、楽器演奏等を一般市民やアイヌ同胞に紹介した。

- ・日 程：令和6年9月22日（日・祝）
- ・場 所：真歌公園広場（新ひだか町静内真歌）
- ・出 演：10保存会（114名）

○後継者の育成とアイヌ文化等の理解促進を図るため、「優秀工芸師」による「優秀工芸師秀作展示交流会」を開催し秀逸な作品の展示、技術指導を行った。

- ・日 程：令和7年2月6日（木）～9日（日）
- ・場 所：かでる2・7 1階展示ホール
- ・実演者：優秀工芸師 5人

（６）道立アイヌ総合センターの管理

北海道条例に基づき指定管理者として道立アイヌ総合センターの指定管理業務を行った。

○一般市民に対しアイヌ民族への理解を深めるため、常設展示や関係図書、史・資料の利活用の促進を図った。施設空間の活用などによりアイヌ文化の体験学習や講習会を実施、伝承と保存活動を推進した。

令和6年度アイヌ総合センター学習事業実績

講 習 名	日 程	講 師 名	延べ人数
アイヌ刺しゅう講習会（初級①）	6月 6日、6月13日 6月20日、6月27日	北嶋由紀	40人 (10人×4回)
アイヌ刺しゅう講習会（初級②）	9月 5日、9月12日 9月19日、9月26日	北嶋由紀	44人 (11人×4回)
アイヌ刺しゅう講習会（中級）	7月 4日、7月11日 7月18日、7月25日 8月 1日	宮田初枝	50人 (10人×5回)
アイヌ刺しゅう講習会（勉強会）	6月10日、 6月17日 6月24日、 7月 8日 7月22日、 8月 5日 8月19日、 9月 2日 9月30日、10月 7日 10月21日、10月28日	宮田初枝	96人 (8人×12回)
合 計			230人

○自主事業等の実施

（自主企画事業）

- ・アイヌ民工芸品（北海道アイヌ伝統工芸展受賞作品）をアイヌ総合センター内に展示し、優秀作品の鑑賞機会の提供と伝承技術の奨励を促進した。

（広報活動等）

- ・アイヌ協会ホームページ、講習会周知、かでの広報への施設案内・行事の周知を行った。

（7）人種、民族に関する調査研究及び提言

先住民族アイヌに関する文化的伝統や慣習、歴史、言語、文化遺産、文化的表現を保持、管理、保護し、発展させるため、必要な情報収集に努めた。

①アイヌ民俗文化財調査事業 道教委委託事業

○故金成マツ筆録、ユカラ翻訳整理及び伝統的な生産生業、民俗技術、口承文芸などの調査を行った。

- ・萱野茂二風谷アイヌ資料館保管の金成マツノート中、2話の翻訳整理と原稿化。

表記法等：（筆録原文音素表記・アイヌ語カナ表記・邦逐語訳/対訳）2編。

- ・民俗技術の調査